

第三回日英外務・防衛閣僚会合（2+2）共同声明【骨子】

- 日英両国が欧州及びアジアにおけるそれぞれ最も緊密な安全保障上のパートナーであることを再確認。グローバルな安全保障上のパートナーシップを次の段階へと引き上げることへのコミットメントを表明。この観点から、行動計画の策定を歓迎。
- 法の支配に基づく国際秩序（含：海洋秩序）の重要性を強調。
- 自由で開かれたインド太平洋地域を維持するために協働していくことが共通の利益。今後、あり得べき空母の展開を含む、この地域への英国の安全保障面での関与の強化を歓迎。FPDAを通じたこの地域への英国のコミットメントを歓迎。
- 北朝鮮の国連安保理決議違反や核・弾道ミサイル開発の継続を最も強い表現で非難。核武装した北朝鮮を決して認めない。また、完全で、検証可能かつ不可逆的な核・弾道ミサイル開発の放棄と朝鮮半島の非核化の実現へ向けた具体的な行動をとらせるべく、最大の圧力をかけることを確認。北朝鮮に拉致問題の解決を強く要求。
- 東シナ海及び南シナ海における状況を引き続き懸念。緊張を高め得るいかなる一方的な行動にも強く反対。南シナ海における実効的な行動規範の策定のための交渉の早期妥結を支持。このような外交的努力が係争地の非軍事化につながるという認識を共有。
- 中東地域の安定及び繁栄を確保することへのコミットメントを確認。イランの核問題に対する包括的共同作業計画（JCPOA）を支持。
- 昨年の英空軍のタイフーン戦闘機訪日時の日英共同訓練「ガーディアン・ノース」を含む日英間の防衛協力の進展を歓迎。日英間で初めて日本での陸軍種共同訓練を来年実施。HMSアーガイル及びHMSサザーランドのアジア太平洋地域への展開等の様々な機会を捉え二国間訓練を実施。二国間訓練及びオブザーバー交換の定例化を追求。部隊間交流の着実な進展を歓迎。
- 防衛装備・技術協力の進展を確認。「共同による新たな空対空ミサイル（JNAAM）」に関する共同研究プロジェクトの実現可能性に係る研究の第二段階の進捗を受け、試作研究及び発射試験を含むプロジェクトが早急に具体化することを期待。
- 途上国の能力構築支援における連携が進展していることを歓迎し、調整メカニズムを活用し、能力構築支援での連携を進める。
- 2018年1月の日英テロ対策協議を歓迎。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた協力の深化を確認。
- 2018年2月の日英サイバー協議を含め、サイバーセキュリティ分野における情報共有及び協力を一層強化。
- 宇宙の安全や安全保障問題に対処し、全ての宇宙活動に対して責任ある行動を求める国際規範を促進していく。
- 通常兵器及び汎用品、特に大量破壊兵器の運搬手段になるものの、輸送及び違法な流出を管理するために緊密に協力。